２０２６年１１月２日
損害保険ジャパン株式会社

外国人の住まい探し支援に向けた企画が
仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会の公募事業に採択
～HRDX と連携しプラットフォームの開発に向けた実証実験を実施～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、HRDX 株式会社（代表取締役社長：佐瀬　武士、以下「HRDX」）と連携して、外国人の住まい探しを支援する企画を立案し、仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会による公募事業「ダイバーシティ・イノベーション推進事業」に採択されました。

損保ジャパンと HRDX は、外国人の住まい探しを支援するプラットフォームの開発に向けた実証実験を行うことをお知らせします。

１．背景・経緯

仙台市は、誰もが安心して住み、活躍できるまちを目指し、ダイバーシティまちづくりを推進しています。損保ジャパンは、「Diversity for Growth」を重要な経営戦略の一つと位置付け、多様な人材が強みを発揮しながら活躍するための制度作り、風土づくりに力を入れています。

こうした背景のもと、HRDX をはじめとするパートナー企業とともに、外国人の住まい探しを支援する企画を立案しました。

２．目的

損保ジャパンとプラットフォームの開発・運営を担う HRDX は、来日する外国人向けに住まい探しのプラットフォームを開発し、来日時の安心・安全を提供し、インクルーシブな環境整備を目指します。

３．主な内容

損保ジャパンと HRDX は、以下の項目に取り組みます。

（１）外国人が来日に際して住まい探しを円滑に行うための、プラットフォームの開発をすること

（２）開発したプラットフォームを外国人に活用してもらい、住居とのマッチングの実証を行うこと

４．今後について

損保ジャパンは、長年培ってきたリスクマネジメント力と地域のネットワークを活かし、行政・大学・パートナー企業と協働しながら、多様な人々が互いに認め合い、安心して暮らせる活力ある地域社会の共創を目指していきます。

以上